



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん



「高千穂郷」通信

NO.190

平成30年11月号

(発行：宮崎県西臼杵支庁)



高千穂町では雲海のシーズンを迎えました。雲海の名所として知られる国見ヶ丘ではシーズン中、神話のふるさと高千穂の上空に広がる雲海の景色を楽しむことができます。11月下旬にかけて、雲海が観賞できるシーズンです。西臼杵へおいでの際には、ぜひ一度雲海の素晴らしい景色をご覧ください。

在福宮崎県人祭で西臼杵のPRブースを出展

10月12日(金)に、福岡市のホテルニューオータニで、在福宮崎県人祭が行われました。西臼杵観光推進連絡協議会(事務局：西臼杵支庁)では、ブースを出展し、西臼杵地域の観光PRや特産物の紹介を行いました。

管内三町や高千穂郷・椎葉山地域世界農業遺産、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークのパンフレットを配布するとともに、世界農業遺産の地域で生産されたお米や釜炒り茶、しいたけなどを販売しました。

当日は、原田五ヶ瀬町長にご登壇いただき、西臼杵の観光スポットや特産物の紹介を行っていただきました。また、抽選会の賞品として、西臼杵管内の特産物の詰め合わせを提供しました。



高千穂高校への出前講座

10月9日（火）に、高千穂高校で、林業に関する出前講座を実施しました。同高校の1年生110名を対象に、西臼杵地域の主要産業である、仕事としての「林業」を紹介するために、宮崎大学農学部森林緑地環境科学科の大地俊介助教を招いて、御講話をいただきました。

生徒の皆さんには、5月に実施した林業現場見学バスツアーにも参加をしていただきました。今回の出前講座でも林業の仕事に興味を持っていただきながら、真剣な面持ちで説明に耳を傾ける生徒の姿がありました。



西臼杵地区中山間地域振興協議会を開催

10月25日（木）に、西臼杵支庁で「中山間地域振興協議会」を開催しました。当日は3町から、公民館連絡協議会会長や民間委員の方に出席をいただき、地域の現状や課題、解決に向けた取組についての意見交換を行いました。

空き家対策をはじめとする移住者への対応、若者をとりまく雇用の確保、産婦人科がないことや買い物できる店が少ないといった課題に関する意見が多く出ました。新たな中山間地域振興計画は平成31年6月以降に公表される予定です。



普及職員九州ブロック研究大会で西臼杵型放牧の取組発表

10月24日（水）～25日（木）にかけて、佐賀市で農業改良普及指導員の九州ブロック研究大会が行われ、事例発表や視察研修が行われました。

24日は、各県代表の事例発表が行われ、宮崎県の代表として西臼杵支庁農業普及課の原田主任技師が「中山間地域の特徴を生かした西臼杵型放牧の取組」について発表を行いました。放牧の方法や、餌の管理について質問が寄せられ、西臼杵型放牧の取組への関心の高さが伺えました。

25日は佐賀県内の3つのエリアごとに視察研修が行われました。県外の普及事例を学ぶ、有意義な大会となりました。



祖母・傾・大崩ユネスコエコパークシンポジウム開催

10月28日（日）に、高千穂町武道館で、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークのシンポジウムが開催されました。

地域内におけるエコパークの認知度向上と研究成果の還元を目的に開催されたシンポジウムでは、神楽の公演や環境省などによる講演が行われました。また、高千穂中学校3年生の佐藤摩袋斗（まさと）さんが、神楽の継承をテーマとした「伝統を受け継ぐために」というタイトルで活動報告を行いました。



牧元林野庁長官が西臼杵管内を視察

10月19日（金）に、元副知事でもあった牧元幸司林野庁長官が森林基幹道「高千穂・日之影線」を視察されました。

この高千穂・日之影線は、高千穂町跡取川地区を起点とし、日之影町大人地区を終点とする全体計画延長L=41.1kmの林道で、総事業費約70億円、全体事業期間20年をかけて整備されます。

今回視察した現場は、高千穂町狩底地区と日之影町乙女地区を結ぶ林道橋「乙女大橋」の架橋位置です。

当日は、両地区の住民や関係者との意見交換も行われ、牧元長官は熱心に耳を傾けておられました。

乙女大橋が完成すると両地区の往来が容易になり、更なる生活基盤の充実が図られることから、地域住民も完成を熱望する林道橋です。これからも関係機関との連携を強化し、高千穂・日之影線の早期完成へ向け、取り組んでいきます。



体系的農家研修の今後の開催スケジュールについて

農業普及課では、平成30年度西臼杵地域体系的農家研修として、新規就農期、経営発展期、経営充実期の三段階に分け、それぞれの経営ステージに応じた内容の研修をこれまで計8回行いました。

今後も充実した研修を計画しておりますので、農家の皆様の参加をお待ちしています。



11月8日（木）19:00~20:00

「しいたけ栽培の栽培技術」

11月29日（木）19:00~20:00

「中山間地域の農業展望について」

12月14日（金）19:00~20:00

「これからの農業に必要なこと」

支庁の業務紹介【福祉課・地域福祉担当】

西臼杵支庁は県内唯一の総合出先機関として、6つの課から構成されています。11月号では、福祉課の地域福祉担当について、紹介をしたいと思います。

西臼杵支庁の福祉課では、生活保護や家庭に関する相談、母子福祉資金の貸付等、生活に密着した福祉業務に取り組んでいます。

地域福祉担当では、主に生活保護の相談や保護費の支給について、生活保護法や実施要領などの法律等に基づいた事務手続を行っています。

また、生活困窮などの困りごとについて、役場や社会福祉協議会、病院や介護施設などの様々な機関と連携して、支援が必要な方の自宅を訪問し、生活の状況や体調の変化にも配慮をしながら、問題の解決に向けて寄り添った支援を行っています。

支援を必要とする方が抱える困りごとに真摯に向き合う中で、自立の助長に繋がるなど、やりがいを感じることも多い業務です。



五ヶ瀬町の精米・精粟を新嘗祭に献納

毎年11月23日に行われる宮中行事のひとつ、新嘗祭で供えられる新穀（精米・精粟）を献上する「新嘗祭献穀献納式」が10月25日（木）に、東京都の皇居において行われました。

新嘗祭は天皇陛下が神嘉殿において、新穀を皇祖はじめ神々にお供えになって、神々の恵みに感謝する祭典です。新嘗祭に供えられる新穀は、全国各地の精農家が献納します。

宮崎県では、県内7地区持ち回りで担当しており、今年は五ヶ瀬町の長田慎司さんと吉村里恵さんが選ばれました。長田さんが水稻、吉村さんが粟を自然災害や鳥獣外に遭わないように工夫をしながら栽培し、立派な精米・精粟を納められました。



ひのかげ溪谷まつりがありました

10月27日（土）と28日（日）に、日之影町の癒しの森運動公園で、「ひのかげ溪谷まつり2018」が開かれました。

今年の溪谷まつりは両日ともに天候に恵まれ、会場は町内外から会場に集まった人で賑わいを見せました。

溪谷まつりは、毎年稲作の収穫が一段落する時期に開催される町の一大イベントです。青少年伝統芸能の発表や癒しの森コンサート、子ども向けステージショーなど、多彩なプログラムが人気となっています。今年は、子ども向けのボルダリング体験や木育教室など、アウトドアと自然をテーマにしたコーナーも会場に設置されていました。



五ヶ瀬町が交通事故死ゼロ2000日を達成

10月22日（月）に、五ヶ瀬町が交通事故死ゼロ2000日の記録を達成したことに対する感謝状の贈呈式が、五ヶ瀬町役場で行われました。


当日は、高千穂警察署の中原署長から原田町長に対して感謝状が贈呈され、五ヶ瀬町の交通安全活動や、署への積極的な協力に対して感謝が述べられました。

原田町長は、「町内には3本の国道が走っているが、死亡事故ゼロが続いている意義はとても大きい。免許返納者に対してタクシーの利用券を配布するなど、今後も積極的な交通安全対策の推進に町を挙げて取り組み、事故死ゼロの記録を更に伸ばしていきたい」と振り返りました。



◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

Facebookページ  「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」更新中！

記事として紹介できるイベントや取組等がありましたら、上記まで御連絡ください！

